

ウイルスやワーム等の感染による情報漏えいの危険性を排除する 「Symantec Client Security」と「Symantec Gateway Security」

通販業者にとって、個人情報の漏えいは以前から企業の信用にかかわる問題であった。個人情報保護法の完全施行以降、漏えいした情報の多寡に関わらず企業の存続に直結するようになり、漏えいの可能性は徹底的に排除しなくてはならない。特に、ウイルスやワーム等の感染による情報漏えいの危険性はネットワークを利用するオンライン通販を主体とする企業にとっては一番身近な脅威である。そうした脅威を排除するために丸鮮千代水産株式会社は従来から導入していた「Symantec Client Security」と「Symantec Gateway Security」をバージョンアップし、セキュリティレベルを一段上げ個人情報保護法にそなえている。

オンラインの通信販売業者に求められる個人情報保護法対策

古くは札幌市民の台所と言われた二条市場を発祥の地とする丸鮮千代水産株式会社は北海道ならではの、食材・特産品を産地から厳選し小売および通信販売にて顧客に提供している。また、産地との太いパイプから生まれる厳選した素材を使った飲食店を経営している。しかし、量販店の相次ぐ出店の影響により札幌市民の台所という位置づけは昔の話となり十数年前より来客のほとんどが観光客となった。その観光客も年々減少傾向にあり、1998年からはオンラインの通信販売に活路を見出すようになる。楽天市場やYahoo!ショッピングといった大手オンラインショッピングモールに出店し、現在では海産物のジャンルにおいて売り上げランキングの上位にしばしば名を連ねるなど高い評価を得ている。

「オンラインの通信販売業者の場合いかに多くの顧客情報を持つかが重要になっています。その顧客情報というのは連絡先や商品の発送先、決済といった通信販売の商取引を行う上で絶対必要な情報です。つまり名前はもとより住所、電話番号、さらにはクレジットカード番号が該当する訳です」と丸鮮千代水産株式会社の代表取締役社長、敬禮匡氏は語る。大手オンラインショッピングモールで多くの売り上げを誇る同社は約5万人の顧客情報を保有しているという。「それ以外に、メールマガジンを発行しているので登録ユーザは約16万人になります。これだけの個人情報を保有すると、最も優先すべきことはこれらの個人情報を守ることに他なりません。」

オンライン通販業者の場合、業務を行うためには必ずインターネットを利用することになる。データのやり取りはCSV形式を用いるという。そのため最低限のセキュリティ対策は必須である。従来、同社では「Symantec Client Security」と「Symantec Gateway Security 5310」を導入していた。「導入当時はその時点で最適な製品を導入していた」と語るが、この2年間の間にどちらの製品も多くの機能が追加された新版がリリースされている。そこで、個人情報保護法の施行を見据えてセキュリティレベル向上のために最新版への入れ替えを進めた。

外部の脅威と内部の脅威から会社の財産を守る



丸鮮千代水産株式会社
代表取締役社長
敬禮匡氏

丸鮮千代水産株式会社は従業員9名。ほとんどの社員は一人2台のPCを持つという。「情報漏えい対策には外部の脅威と内部の脅威があると思います。外部の脅威についてはゲートウェイに加えてクライアントPCにいたるまでシマンテック製品が導入されているので不安はありません。問題は内部の脅威です。従業員がファイルを持ち出せないようにするために個人情報を扱うPCと一般事務を行うPCに分ける必要がありました。個人情報を扱うPCについてはウイルス対策だけでなく、ファイルを他のメディアにコピーすることが出来ない対策が採られています。その為、従業員にとってはかなり使いにくいPCになっているはずです。」

〔敬禮匡氏〕さらに、社長の敬禮氏以外はデスクトップPCに統一しているため物理的にも持ち出すことはできなくなっている。「保有する個人情報の量は会社の規模と必ずしもイコールではありません。顧客情報が会社の財産であると認識すればセキュリティ対策の重要性は大企業並みに必要であると考えられます。しかし多くの小規模企業は現金をしまふ金庫は立派な物を買っていますが、ネットワークセキュリティ対策にはお金をかけていないように感じます」と語る。事実、同社は従業員9名にも係わらず、16万件を超える個人情報を有している。

丸鮮千代水産株式会社

札幌の二条市場を中心に水産物・農産物・北海道特産品の販売や飲食店の運営を手がける。オンライン通販にいち早く参入し顧客を全国に広げている。二条市場にある「どんぶり茶屋」は、北海道を訪れる観光客に大人気。



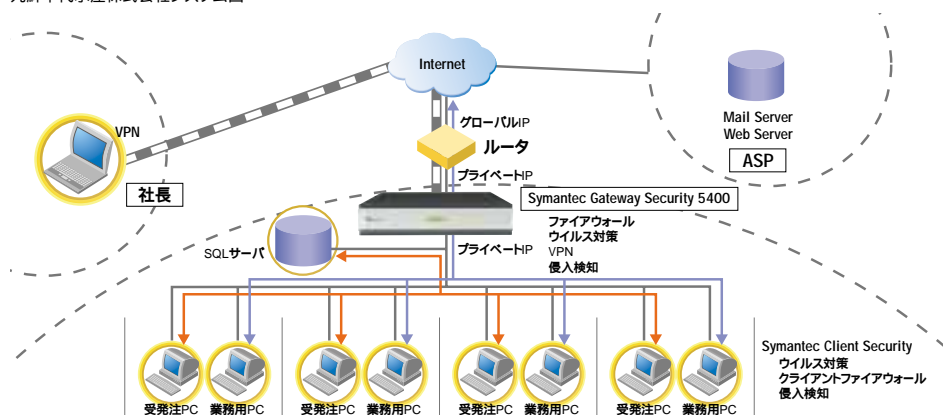
Symantec Client Security

> クライアント用の統合型セキュリティ製品。ウイルスやワーム、社内からの不正アクセス、DDoS攻撃、情報漏洩や企業内アクセス管理など、さまざまなセキュリティに対応します。統合された管理ツールにより、ネットワーク上のクライアントを一元管理できます。

Symantec Gateway Security

> ファイアウォールをベースに、アンチウイルスなど複数の機能をゲートウェイレベルで統合することにより、不正アクセスやウイルス感染をはじめとする様々な脅威から、社内ネットワークを保護します。複数の攻撃を組み合わせた脅威に対しても、効果的に対処することが可能です。

丸鮮千代水産株式会社システム図



ゲートウェイでのセキュリティ対策で個人情報保護法に向き合う

こうした同社のポリシーはセキュリティ対策の導入にも表れている。導入当時でも既に8万件の登録のあるメールマガジンを運営していた。「8万人のうち1%位はウイルスに感染しているように感じました。1通メールマガジンを送信するとウイルスメールが約800通送られて来ました。日常的に届くスパムメールを含めると1通の送信で約1,600通は不要なメールが送られてくるということになります。そういったメールにまぎれて正規の注文メールも送られてきているが、目立たずに商機を逃す可能性があります。さらに、うっかりウイルスメールを開いてしまう可能性もある。常に最新の定義ファイルに更新しているとはいっても知らぬ間に定義ファイルの更新が滞っていた場合、ウイルスに感染して情報を漏えいさせてしまうリスクは残ります。」そこで、唯一のインターネットの入り口であるゲートウェイでウイルススキャンをし、不要なメールはなるべくクライアントPCに届かないような環境構築が必要だった。その時、注目したのが「Symantec Gateway Security(SGS)5310」。ファイアーウォールに加えウイルス対策が1台で実現する事が魅力だった。「小規模企業なので、個別の導入で管理が煩雑になるよりも、1台のライセンスで対応できた方が導入コスト、運用コストの両面でメリットがある。」そうして「SGS5310」を2年程前に導入した。その後「個人情報保護法に向き合うには最新のセキュリティ対策が必要」ということで現在は「SGS5420」が稼働している。

顧客との信頼関係を損なわないために「Symantec Client Security」を選択

一方「ゲートウェイでのウイルス対策だけでは安心できませんでした。サーバには何万という顧客情報が蓄積されており、それらをクライアントPCで使用しなければ通信販売業務は成り立たないからです。」そこで、同社では、ウイルス対策のみならずクライアントファイアーウォールも併せ持った「Symantec Client Security」を全クライアント・サーバに導入した。「ウイルスによる情報漏えい対策も重要でしたが同じくらい心配なのは、1通でもウイルス付きメールを顧客に送信してしまったらそれまで築いてきた信頼関係が損なわれてしまうということでした。その点、クライアントファイアーウォールで許可されたアプリケーションだけが外部と通信できるように設定すれば、知らぬ間にウイルス等を外部に送信することを防ぐことができます。」常に高いレベルでのセキュリティ対策を考えた時に、ウイルス対策だけではなくクライアントファイアーウォールも統合した「Symantec Client Security」を同社が選んだのは当然の結果だった。「現在の環境には満足していますが、新たなリスクとしてスパイウェアなどが多く登場しています。そうしたものに今後は対応していかなくてはならないでしょう」と常にセキュリティレベルの向上を考えている。「大切な顧客との信頼関係を築いていく中で「失敗した」はたった一度でも許されない」という危機意識を常に持っている。そうした考えを支えているのが「Symantec Gateway Security 5420」と「Symantec Client Security」である。



本店
<http://www.chiyo.co.jp/>
 楽天市場
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/chiyo/>
 Yahoo!ショッピング
<http://store.yahoo.co.jp/chiyo/>
 livedoorデパート
<http://tenant.depart.livedoor.com/t/chiyoshop/>



どんぶり茶屋
<http://www.donburi.jp/>

株式会社シマンテック

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター17F

お問い合わせ先

コーポレートカスタマーサービスセンター
 電話受付時間：月～金 10:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
 電話：03-3476-1426
 FAX：03-3476-1159

www.symantec.co.jp